

# 留学生就職活動体験談 2025

## 投稿者

氏名: KANG HYUNSEO

国籍: 韓国

専攻: 生物資源科学部  
地域資源開発学科

日本滞在期間:  
4年(本学修了時)

日本語能力レベル:  
日本語能力試験 N2

## 勤務先

ハンファエナジージャパン株式会社

## 業務内容と担当業務

太陽光発電事業を行う会社です。私は EPC チームに所属し、CAD などを使って発電所の設計を担当しています。

### 日本で就職しようと思った理由は？

現在の韓国の就職状況が良くないという現実的な理由もありましたが、大学4年間日本で生活する中で日本語でのコミュニケーションが可能になり、文化にも自然に慣れました。そのため、日本で就職しても生活や仕事に適応するのに大きな困難はないと判断し、日本での就職を選びました。

### 勤務先を選んだ理由は？

就職先の会社は、韓国に本社を置く日本法人です。韓国でも規模が大きく認知度の高い企業であるため、将来日本での生活を終えて韓国に戻る際にもキャリアとして活かせると思い、応募しました。日本での経験と韓国でのキャリアを自然に引き継げることを重要視しました。

### 就職活動の際の応募企業数は？

2社に応募した中で、幸い第一志望の企業に比較的早く内定をいただき、就職活動も早めに終わることができました。

### 面接でよく聞かれた質問は？

一般的に多く寄せられる志望動機、自己PR、キャリアビジョンに関する質問があり、留学生であることから、日本でどのくらいの期間働くつもりかについても質問を受けました。

### 効果的だった就職活動対策は？

応募する前に「自分がどんな仕事をしたいのか」、「入社したら実際にどんな業務を担当するのか」、「この業務のために何を勉強すべきか」、そして「自分が長く働ける会社の基準は何か」を深く考え、あらかじめ整理しました。

そのおかげで方向性を失わず、自信を持って就職活動に臨むことができました。

また、日常生活で使う日本語とビジネス日本語は本当に異なるため、4年生になってからビジネス日本語を勉強しておいたことが大いに役立ちました。

### 後輩へのアドバイス

将来母国に戻る可能性があるなら、母国企業の日本法人と一緒に検討するのも良い選択だと思います。前述のように日本でのキャリアを母国で続けることができ、母国語能力が明確な強みとして作用するからです。実際、私も韓国語と日本語の両方を使えるという点が好意的に評価されました。

そして、就職準備をする際に不安を感じるのは当然だと思います。私もメンタルが弱い方なので、この不安感を減らすためにプランB（オーストラリアでのワーキングホリデー）、プランC（専門資格を取得した後再挑戦）など、就職に失敗したときの代替策を用意していました。就職がうまくいかなかったときに「終わった、失敗した」ではなく「それならこれをやろう」と思うことで、精神的な不安を軽減できました。

留学生の皆さんの語学力と留学で培った挑戦精神を活かせば、きっと良い結果が得られると思います。応援しています。